

巻頭言

新たな挑戦の2016年が始まり、気が付くともう半年が過ぎようとしています。時の流れは本当に早いですね。技術委員会もメンバーを入れ替え試行錯誤しながら新たな年を出発させましたが、まだまだ具体的な活動に及びまでは至っていません。みんなの声を集めながら、全員で長野のサッカーの向上のために尽力していきたいと思えます。そのために技術委員会としてできることを、1つずつ押し進めていかねばならないと思っています。今後ご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

今回は、多忙の中、心折れそうになる自分を励ましたり、初心に戻してくれたりする自分自身が大事にしている言葉をいくつか紹介させていただき巻頭言とさせていただきます。

- ① 「あなたが世界に望む変化に あなた自身がなりなさい」ガンジー
- ② 「丸くても一角あれや人心 あまり丸きは転び易きぞ」
- ③ 「すべては困難であるが、すべては可能である」ドラガン・ストイコビッチ
- ④ 「成果とは長期のものである。すなわち失敗をしない者を信用してはならない。弱みがないことを評価してはならない。人は優秀であるほど間違いをおかす。」ドラッカー
- ⑤ 「リーダーの役割は Have to を want to にすること」
- ⑥ 「素直に吸収 信じて実行 結果に感謝」剣道全中制覇神奈川県潮中剣道部顧問 大塚陽介
- ⑦ 「たとえあなたが正しい道の上にいたとしても、そこに座っているだけならひかれてしまう」
- ⑧ 「3cmの道幅では自転車に乗ることはできない」
- ⑨ 「我々は無力じゃない ただ微力なだけ」
- ⑩ 「やると決めた人は道を探す 決めない人は言い訳を探す」
- ⑪ 「天に口なし 人をして知らしめる」
- ⑫ 「人生とは10%は自分でつくるもので90%はそれをどう引き受けるかだ」アービングバーケン
- ⑬ 「ピンチ・ピンチ・チャンス・チャンス・ランラン♪」五日市 剛
- ⑭ 「行いは俺のもの 批判は他人のもの 俺の知るところではない」勝海舟
- ⑮ 「感動=can+do」植松努
- ⑯ 「売れているものが良いものだったら世界一うまいラーメンはカップラーメンだ」甲本ヒロト

最後にワンダフルの語源を最近知って感銘を受けたので伝えさせてください。Wonder（不思議・驚くべき）+ful（いっぱいになる・満ちている）=wonderful（素晴らしい）だそうです。未知なるものに手を伸ばしていくことは勇気が必要ですが、素晴らしき世界実現のため、自分にできることを大事に、全員で頑張っていきましょう。

長野市サッカー技術委員長 徳竹秀彦

<目次>

- ① 各セクション年間事業計画
- ② 市立長野高校 県総体初制覇報告

【 各セクション事業計画 】

「TSG2種」 <芦田>

○実施内容

- ・長野市内チームの試合分析
試合観戦もしくは映像を用いて長野市内のチームのゲーム分析をおこない、現状を把握する。
- ・全国および県内トップレベルの試合を観戦もしくは映像を用いて、各種別における現在の長野市の選手たちに必要なものを共有する。

○目的

- ・長野市サッカー（2種・3種・4種）の現状を客観的に分析し、長野ビジョンに向けての現段階における成果と課題を洗い出し、指導の現場に還元する。
- ・4種から3種へ、3種から2種へと育成年代における一環指導を実践していくための具体的な方法を提示し、各種別をつなぐ役割を果たす。
- ・分析された考察について指導者便りやトレセン活動を通して、選手や指導者へフィードバックし、全体で情報を共有する。

「TSG3種」 <中村、眞中、徳武>

○実施内容

- ・3種年代のリーグ戦、大会等のゲーム分析
- ・ゲーム分析、分析の視点、分析からの指導のポイント等のディスカッション・共有

○目的

・分析から、この年代の課題や身につけさせなくてはいけないポイント等を把握し、各指導者へ展開することで、長野市全体の3種年代のレベルアップを図る。

○技術向上・育成面を中心に目指す取り組み

・ゲーム分析の映像を、多くの指導者の方々と観合い、ディスカッション、分析の視点・指導ポイントの共有等を行える機会を設けたいと考えています。（8月以降を検討中）多くの指導者の方にご参加いただければと思います。

「U13 リーグ」 <北澤>

○実施内容

- ・北信の協会登録団体からU13 年代チームをつのり、年間(5月から10月)を通してリーグ戦を行う。
- ・8人制1人審判。・グループ2回以上総当たり。

○目的

- ・U13 年代選手およびグループの活性化、育成を図る。
- ・U12 年代のチームの参加もつのり、種別を超えた育成を提案する。
- ・8人制でゲームを行う環境を整備することで、U13 年代選手がボールに触れる時間を多くすると共に、選手の少ない協会登録団体への参加の機会を増やす。
- ・指導者の交流を図り指導者としての資質の向上に努める。

○技術向上、育成面を中心に目指す取り組みの特徴・重点・目標

- ・普段、試合機会の少な苦なりがちな年代に経験となる試合機会を提供する。
- ・総当たり2回とすることで、力の差も含め同世代の様子を体感でき、成長を感じられる場として刺激を与える。
- ・各グループ上位チームで県リーグ 参入戦への参加を希望するチームでプレーオフ(チャンピオンシップ)を行う。
- ・優勝チームや優秀選手を表彰する場をつくり選手の意欲をあげると共にリスペクトする習慣をつくる。

○技術向上・育成面での成果

- ・選手に豊富な経験を与えることができた。
- ・北信 U15YSL とセットで行うことで、チームの負担軽減を図った。
- ・試合の勝敗も大切だが、チャレンジさせることが大切であるといった雰囲気は指導者はもちろん保護者からも感じられるようになってきた。
- ・保護者審判が多くなってきた。ユース審判(U14 や U15) も活躍できた。

○課題と改善の展望

- ・グループ上位チームによるチャンピオンシップはモチベーション面でも良いので継続したい。
- ・U12 リーグとの日程調整が必要であるがU12 チームの参加を増やすためスポット参戦を認めていきたい。
- ・県 U13 リーグへの昇格を考えると、昇格を目指すことが可能(選手数・スタッフ数)なチームと毎年不確定なチームとでリーグを別けた方が運営上良いのではないかという意見と年度途中で状況が変わるチームもあるので、別けるべきでないし、チャンピオンシップを行えば実際に強いチームが昇格できるからという意見がある。

「フットサル」 <藤井>

○長野市長杯フットサル大会

- 4種 2016年12月3(土)、4日(日) 南長野運動公園体育館
- 2種 2017年1月8日(日) 南長野運動公園体育館
- 3種 2017年2月11日(土) ホワイトリング、南長野運動公園体育館、豊野体育館

○技術講習会

指導者講習会 11 月頃（期日、会場未定）

ボアールス長野による巡回指導（現在ボアールス長野と調整中）

「グラスルーツ」 <野澤>

○実施内容

- ・ 保育園、幼稚園、小学校などへの巡回指導
- ・ イベント開催（食とスポーツ、親子サッカー）
- ・ U9 交流会（4 種、女子、フットサル、キッズ）

○目的

- ・ からだを動かすことが好きな子供を増やす。
- ・ サッカーを楽しみ、身近に感じられる、地域を目指す。

○取り組みの特徴

- ・ 子供たちが持つ個や才能の早期発見の場を目指す。

○課題と改善の展望

- ・ グラスルーツ委員会の組織づくり。
- ・ サッカーを安全に安心して楽しめる環境整備。

「医事」 <金井>

○実施内容

- ① 各大会の救護活動
- ② 学生・指導者向けにストレッチを中心とした傷害予防の指導（全体、各チームに対して）

○目的

- ① スポーツ現場での救護活動を行い、選手の症状に対応し正しい処置を行い重篤な怪我を予防し安全にサッカー競技を行うため。
- ② 選手、指導者にストレッチを中心とした身体ケアの正しい方法と重要性を知っていただくため。怪我の予防のため。

「指導者研修・指導者養成」 <中澤>

OTSG、トレセンの分析を受けての研修会、交流会開催、伝達講習会

- ・ 指導者養成サッカー理解

○指導者交流会（2 月）

「技術と審判の協調」 <中澤>

○フェアプレーコンテスト

○（ユース）審判技術の向上、審判講習会

「Jリーグ」 <中澤>

○観るサッカー文化

- ・長野パルセイロ応援、南長野
- ・パルセイロの企画を応援していく立場

「技術委員会便り」 <西澤>

○実施内容

- ・年6回の技術委員会便りの発行

○目的

- ・多くの方に長野市に関連した情報の共有を目指す。

2016 長野市サッカー協会技術委員会組織

セクション	活動内容※本年度の柱	担当者
TSG	分析...技術委員会で発表 各種別、映像を使ってプレゼンまたはゲームを指定して分析年1回は行う。	2種◎芦田、佐野 3種◎中村博、徳竹、眞中 4種◎内山、吉田、川末
トレセン	一貫指導の確立...種別を超えた指導へ 北信トレセンの核として、北信技術委員会と連携し、2015年種別の枠を超えた指導体制を確立	◎原○田代、眞中、内山、芦田、川末
リーグ戦、大会向上	現状把握と提案...適正人数、ルールの工夫等提案 本来のねらいが理解されて行なわれているか 年代ごとに適正のルールで行なわれているか	2種◎高橋、西澤 3種◎安楽、倉島 4種◎島田、戸谷
指導者研修・指導者養成	TSG、トレセンの分析を受けての研修会、交流会開催、伝達講習会 指導者養成,指導者交流会(2月),サッカー理解	◎中澤○原、中村博
技術と審判の協調	フェアプレーコンテスト (ユース) 審判技術の向上,審判講習会	◎中澤、宮澤
普及(育成)	底辺拡大 各担当から目標値、達成すべき内容を提示	キッズ◎黒鳥 グラスルーツ◎野澤 女子◎川末 フットサル◎藤井 シニア◎戸谷
種別連絡(運営への提案)	種別と技術の連絡 技術の内容を確実に種別へ 双方向で ※ 指導者便りの活用 ※ 指導者講習会への参加	キッズ◎黒鳥 グラスルーツ◎野澤 女子◎川末 フットサル◎藤井 2種◎芦田 3種◎倉島 4種◎島田

医事	医事関係全般...アンケートから W-UP 等の提案 各種医事関係研修の開催 選手への直接指導	◎金井
指導者便り	内容の充実 伝えるためのツールとして有効活動 セクションリーダーが責任をもって	◎西澤○北澤、戸澤 各セクション責任者
Jリーグ	長野パルセイロ応援、南長野 パルセイロの企画を応援していく立場 観るサッカー文化	◎中澤、眞中、高橋、倉島、島田、 川末、黒鳥、野澤
事務局	委員会開催要項、名簿、会計、記録、長野市HP関係	◎北澤、西澤、戸澤

【 市立長野高 高校総体初制覇報告 】

市立長野高校 芦田徹

御礼

おかげさまで、この度長野県高校総体を優勝し、7月下旬に行われる、広島県でのインターハイに出場することとなりました。本当に多くの北信サッカー関係者の方々の応援やお祝いのお言葉を頂戴し、この場をお借りして感謝申し上げます。今回の結果は間違いなく、北信の熱い指導者の皆様方が今まで積み上げてきたものが結果として現れたのだと強く感じております。しかしながら、まだまだ我がチームは不安定で隙だらけですので、またここから積み重ねの日々が始まります。

いずれにしましても、今後も皆様のご指導等を頂戴しながら全国大会へ挑んでいきたいと思っております。簡単ではありますが、まずは皆様へ感謝の気持ちとご報告とさせていただきます。



1、大会結果

〈北信大会〉

2 回戦 14-0 対 更級農業高校
3 回戦 4-0 対 長野吉田高校
準決勝 5-0 対 須坂高校
決勝 3-0 対 長野日大高校

〈県大会〉

1 回戦 13-0 対 小諸高校
2 回戦 1-0 対 東海大諏訪高校
3 回戦 4-0 対 長野吉田高校
準決勝 4-2 対 創造学園高校
決勝 4-1 対 都市大塩尻高校

〈北信越大会〉

2 回戦 0-2 対 新潟明訓高校

2、大会を経ての課題と成果

大会を通してボールを保持しながらゴールを目指すことは出来たと思います。ただ、その中で最後の場面での精度と速さを欠き、得点に至らない事が何度かありました。また、守備においても甘さや隙から失点につながる場面がありました。特に北信越大会においては得点につながる場面（攻守両面）での厳しさの差がゲームの勝敗につながったと思います。ただ、北信越大会における厳しい守備の中でもボールを動かし、ゴールを目指すことは出来たのでその点は成果と考えています。

3、インターハイに向けて

インターハイに向け日常を含め、様々な場面においていかに隙を作らず、厳しくゲームに臨めるかが大切になると考えています。そのために、日常のトレーニングからそのあたりを要求し、少しでもIHに向け積み上げていきたいです。

4、インターハイ日程

一回戦 7月27日（水）10:00～ 対 瀬戸内高校（広島） エディオンスタジアム

